



どんど焼き (鬼火焚き)



これはドラ焼き

2008.01.27



団役・父兄でどんど焼きの準備中。篠竹は付近の敷から調達です。すでに斜めになっていますが？



と言う訳で、サイズアップです。だんだん大掛かりになって来たぞな。基本中の基本消火バケツも準備OKー！



おや、この寒さの中、半ズボンのスカウトがいます。本人曰く「全然寒くないそうです」我が子ながら恐ろしやー



育成会長のお話。会長の出身地では「鬼火焚き」と言うそうです。多分、九州出身かも？今度聞いてみよっと。



ボーイ隊支援の火付けです。さて、マッチ何本で点くでしょうか？2本目で点いたようです。なんとか合一格！



こちらは、なかなか点かないので、ビーバー副長が手助けです。3本目で無事着火。残念！



稲ワラがメラメラと燃えていきます。



良い塩梅に燃えています。燃えた竹の葉が、上昇気流に乗り舞い上がっています。



篠竹がパン・パンと音をたてて、あっという間に燃えています。



薪をくべはじめましたぞ！やはり、予想通り焚き火に突入です。ビーバー副長は楽しそうです。



棒の先にモチを刺して焼きます。



プーウッ。良い具合に焼けています。

どんど焼きとは日本各地で行なわれる小正月(1月15日)の火祭りです。どんどさん、どんどん焼、さんくろう、鬼火焚きなどとも言うそうです。お正月に使った門松やしめ縄、お守り、破魔矢、祈願成就した「だるま」などを持ち寄って焼き、その火にあたり、餅を焼いて食べて無病息災を願うものです。お正月にお迎えした神様をお送りする日本の伝統的な行事だそう。フム、フム、なるほど！





ボー(某)隊長が、わざわざ入れた太い青竹です。本当は孟宗竹を入れたかったようです。パー————ン！



焚き火といったら、これ「紫イモの焼きイモ」



お次は、マシュマロを焼きます。どんど焼きのはずが「欧米か！」後ろの弟くんのほっぺたが、やけにふくらんでますが？こりゃ、結構いけますぜ、Y副長の親分。



なんじゃこりゃー！？ボーイ隊長調達の「騒音計」だそう
だ。どっから持ってきたんでしょうか？たぶん会社。



ビーバー隊も「大声大会」に挑戦です。手前の測定器に向かって叫びます。「はやく、前歯が生えますようにー」てな感じ…



飛び入り参加のカブ隊ウサギスカウト「あ————！ にし
おかすみこだよー！」後ろのいつも、超音波を出すバブバ
ブスカウトは、気分乗らず測定不能。優勝候補だったのに
残念！



ボーイ隊は、恥ずかしがっています。家でもこうおとなしいと良いのだが！

解散後に、我が家のビーバースカウトと買物でも行こうかと車を走らしていると、子:「とうちゃん！**火事**だ！」 父:「どこだ？」 荻崎方面ですごい黒煙が立ち昇っているではありませんか！ こりゃ大変だで、直ちに現場へ直行です。「ウー！ワ・ワ・ワーン。ウー！チ・チ・チーン」でも、消防車の**サイレン**の音は聞こえてはきません。現場は、東谷田部川沿いのヨシ原の野焼きでした。**火事**でなくて良かった。良かった。



パチパチと音をたてて、燃えて行きます。かなりの迫力です。恐るべし炎の力！



この時、仕事帰りのカブY副長より、活動場所付近に黒煙が見えるが火事ですか？のメールが、スカウト諸君。常に危機管理が基本ですぞ！



紅蓮の炎が、全てを焼き払って行きます。思わず親子で立ちすくんでしまいました。火の一用心！



虫ではありません。自宅に帰ると庭の芝生に、ヨシの燃えかすが約2km先の現場から飛んで来ているではありませんか。隣の家では、布団をパン・パンたたく音が・・・

野焼きとは、草木の新芽が出ない時期に、野山の枯れ草を焼くこと。越冬中の田んぼに有害な虫を駆除したり、タバコの投げ捨てやイタズラによる火事を事前に防ぐために野焼きを行っているようだ。* 当日現場で火をつけていた農家のおばさんから聞きました。フム、フム、なるほど！ 日本の風物詩でしょうが、灰が飛散して結構迷惑と思っている人もいますかも・・・

野焼きのムービー